

成果の説明書

(氏名) 阿部圭司	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>■研究活動</p> <p>(1) 研究論文（及び作成に向けた活動）</p> <p>(a) 全国規模で大学生の金融リテラシーとお金に関する心理に関するアンケート調査を実施し、これに基づく共同研究を進めた。</p> <p>(b) ESG 投資における投資家のリテラシーと心理尺度との関連性に関する全国規模のアンケート調査を実施し、これに基づく共同研究を進めた。 上記 2 つの研究に関しては、2022 年度は共に準備とアンケートの実施までとなった。具体的な成果については次年度以降になる予定。</p> <p>(c) 電子部品の価格・販売数の分布に関する共同研究の成果となる論文を投稿、掲載された。</p> <p>① 金井康弘・阿部圭司, 「価格と販売量の関係性に存在する階層構造 その 1 複雑系の視点による再考」, 『高崎経済大学論集』, Vol.65, No.3, 2023, pp.142-150.</p> <p>② 金井康弘・阿部圭司, 「価格と販売量の関係性に存在する階層構造 その 2 3 階層並列構造価格・販売量分布から見いだせるいくつかの知見」, 『高崎経済大学論集』, Vol.65, No.4, 2023, pp.172-193.</p> <p>(d) 株式報酬制度導入企業の財務的特徴に関する共同研究を開始した。</p> <p>(e) 地域科学研究所研究プロジェクト（高崎中心市街地に関する研究プロジェクト）は最終年度となり、担当章に相当する原稿を執筆した。発刊は次年度となる予定。今年度は第 1 回研究会（立命館大, Raupach 氏を招いて）を 2023/2/15 に、第 2～4 回研究会（プロジェクトメンバーによる報告）をそれぞれ 2023/3/10, 19, 23 に開催した。 また、先進事例調査のため、2022/8/17～18 に岩手県盛岡市（訪問先：盛岡市役所, (株)ゲグスデータ）を、2023/1/20～21 に福岡県みやま市（訪問先：みやまスマートエネルギー(株)）を訪問し、聞き取り調査を行った。</p> <p>(f) 地域科学研究所研究プロジェクト（高崎市の製造業研究プロジェクト）に参加、第 1 回研究会（共愛学園前橋国際大, 神宮氏を招いて）に参加した（2023/1/11）</p> <p>(2)出版</p> <p>③ 齋藤正章・阿部圭司, 『三訂版 ファイナンス入門』, 放送大学教育振興会, 260p, 2023 年, ISBN 978-4-595-32411-6. 阿部は 2～8 章及び共同執筆による 1 章, 15 章を担当した。</p> <p>■教育活動</p> <p>ゼミナールにて日本経済新聞社が主催する「日経 STOCK リーグ」へ参加した。2 年, 3 年生の 7 チームは今年も一次審査を通過することはできなかった。また、高大連携事業の一環として、本年度も高崎経済大学附属高校 2 年生クラスとのコラボゼミを 1 年間実施し、3 チームが一次審査を通過、さらにこれらすべてのチームが入選を果たした。</p>	

■その他

【学内】研究科長（2017/4～）として大学院運営（教務，入試等）に携わった。

【学外】高崎市・渋川市で委員会の委員を担当

2 その他の事項

なし

3 次年度以降の計画・抱負

■研究

- (1) 2022年度は書籍の執筆や調査準備に時間がかかり，具体的なアウトプットは少なかつたが，2つのアンケート調査は予定通り実施できたため，次年度以降は分析，論文執筆の時間が取れると期待している。
- (2) 中心市街地活性化の研究が一段落したが，新たに市内の製造業調査についての研究プロジェクトがスタートした。今後も自身の専門分野の研究をしつつ，地域に関連した調査・研究活動を続けて行きたい。
- (3) 2022年度は（一財）群馬経済研究所との研究会が開催できなかったが，次年度は再開し，活動を本格化させたい。

■教育

2021年度から対面での講義に戻ったが，県内，学内の感染状況を鑑み，適宜リモートでの対応も実施した。事前に動画を公開することで反転授業を実施することも可能となった。効果的な講義の在り方について様々試してみたい。